

「経済安全保障に関する米国の対応」

－国際的資金移動の観点から－

別所 英実 (日本銀行) ※

1. はじめに

- 経済安全保障¹: 経済と安全保障が重なる分野。
- グローバル経済の特徴: ヒト・モノ・カネの国際移動 (流動化)
 - － 「ヒト」: ホームランドセキュリティー・空港 (アクターの見地から)
 - － 「モノ」: 輸出管理政策・税関 (技術の見地から)
 - － 「カネ」: 金融制裁・国際決済インフラ (銀行) (金融的/財政の見地から)
 - － 資金移動の「不可視性」・「高速性」
- 米国の「主体的」な外交戦略の内実
 - － 国内法の「域外適用」(エクストラテリトリアル・アプリケーション)

2. BDA 問題概要

- － 米国による事例。金融制裁の効果、米国法の域外適用という点で興味深い。
- a bank and a nuclear dilemma
 - － 対象: BDA
 - － 手段: Financial Leverage
 - － 目的: (i) halting nuclear program in N. Korea
(ii) normalizing relations with the U.S
- USA Patriot Act
- Section 311:
- primary money laundering concern
- BDA 制裁の効果

※ E-mail: hidemi.bessho@boj.or.jp

※ 本報告における意見・見解は筆者個人のものであり、筆者が所属する組織の見解を示すものではない。また、報告の前提となる事実関係は、全て各種機関の公表および報道機関による報道に依拠している。

¹ 村山裕三氏の定義。

- Royal Charm and Smoking Dragon
- SWIFT (the Society for Worldwide Interbank Financial Telecommunication)
- Data control

3. 国際決済システム

- 決済
- 外国為替の決済
- コルレス口座
- 外貨送金メカニズム

4. 過去の事案にみる「国内法の域外適用」との異同

- 域外適用 (エクストラテリトリアル・アプリケーション)
- 国家管轄権
- (参考) シベリアパイプライン事件
- BDA 問題の法的側面について

5. まとめ (今後の動向と課題)

- BDA 問題を通じて考察された経済安全保障政策のディレンマ。
- 経済安全保障戦略の観点からみた、国際的資金移動の動向。
- 市場の理論と政治の理論。米ドル支配が強い中での各国のスタンス。
- 金融制裁に於ける、金融情報のコントロールの確保。
- 安全保障貿易を巡る様々な動向と合わせて、分析していく学術的・实际的枠組みの場の必要性。

以 上